

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

平3-69162

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>  
G 03 G 15/08識別記号  
112  
110府内整理番号  
8807-2H  
8807-2H

⑭ 公開 平成3年(1991)7月9日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

## ⑮ 考案の名称 画像形成装置の現像装置

⑯ 実 願 平1-130854  
⑰ 出 願 平1(1989)11月9日⑱ 考案者 林崎 勝広 埼玉県岩槻市大字岩槻1275番地 富士ゼロックス株式会社  
岩槻事業所内  
⑲ 出願人 富士ゼロックス株式会社 東京都港区赤坂3丁目3番5号  
⑳ 代理人 弁理士 木村 高久

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 交換式トナーカートリッジを装着する現像装置本体に形成された開口部を有し、前記交換式トナーカートリッジから搬送されたトナーを前記開口部を介し前記現像装置本体に配設された現像ローラ側へ案内する画像形成装置の現像装置において、

前記開口部に該開口部を開閉するシャツタを設けるとともに、該シャツタと前記トナーカートリッジとの間に連動手段を配設し、前記交換式トナーカートリッジを前記現像装置本体内に装着した際に、前記連動手段を介し前記シャツタにより前記開口部を拡開させるとともに、前記現像装置本体から前記交換式トナーカートリッジを取り外した際に、前記連動手段を介し前記シャツタにより前記開口部を閉塞させるようにしたことを特徴とする画像形成装置の現像装置。

(2) 交換式トナーカートリッジを装着する現像装置本体に形成された開口部を有し、前記交換式トナーカートリッジから搬送されたトナーを前記開口部を介し前記現像装置本体に配設された現像ローラ側へ案内するとともに、前記現像装置本体が画像形成装置本体の基準位置から、一端を中心に所定角度回転自在に支承された装置

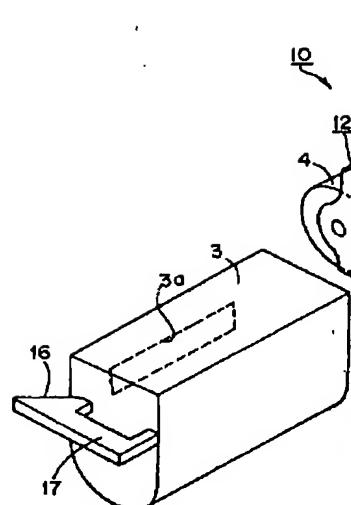
## 画像形成装置の現像装置において、

前記開口部に該開口部を開閉するシャツタを設けるとともに、該シャツタと前記画像形成装置本体との間に連動手段を配設し、前記画像形成装置本体を前記画像形成装置本体の基準位置に装着した際に、前記連動手段を介し前記シャツタにより前記開口部を拡開させるとともに、前記基準位置から前記画像形成装置本体を所定角度回転させた際に、前記連動手段を介し前記シャツタにより前記開口部を閉塞させるようにしたことを特徴とする画像形成装置の現像装置。

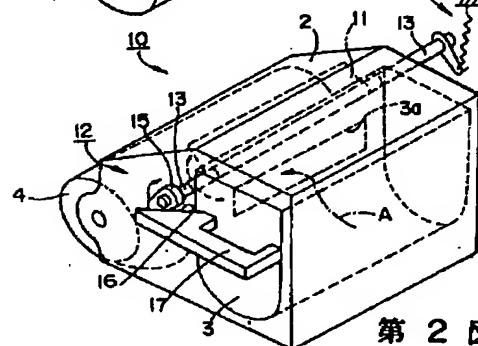
## 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は、この考案に係わる第1の現像装置の概念斜視図、第3図及び第4図はこの考案に係わる第2の現像装置の概念図、第5図は逆止弁を装着したこの考案に係わる現像装置の概念斜視図、第6図は第5図の要部拡大斜視図、第7図及び第8図は逆止弁の作用を示す概念図、第9図及び第10図は従来の現像装置を示す概念斜視図である。

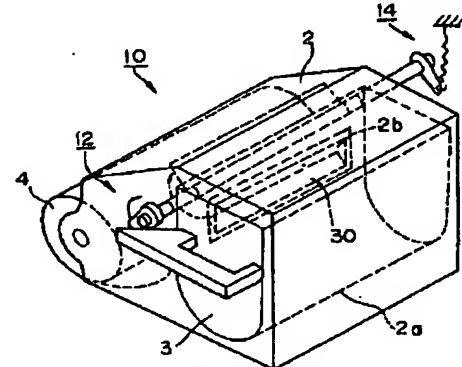
2 ……現像装置本体、2 b ……開口部、3 ……交換式トナーカートリッジ、4 ……現像ローラ、1 1 ……シャツタ、1 0, 2 0 ……現像装置、1 2, 2 1 ……連動手段、2 4 ……画像形成装置本体。



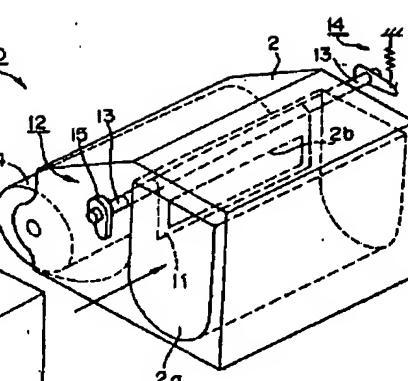
第1図



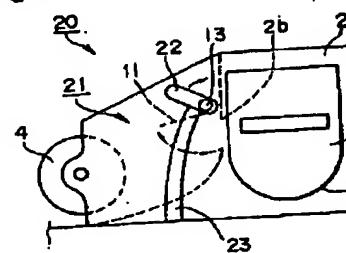
第2図



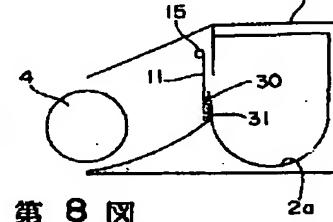
第5図



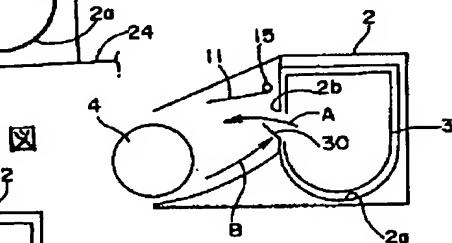
第3図



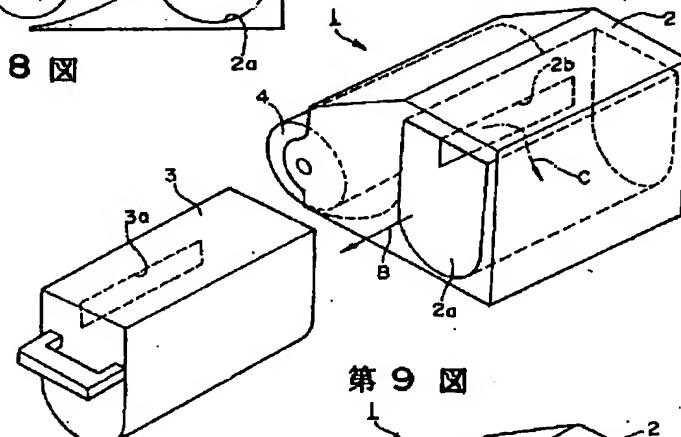
第4図



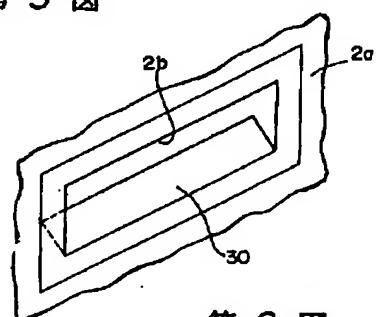
第8図



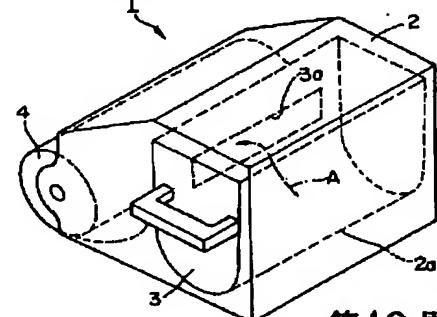
第7図



第9図



第6図



第10図